

いえ 家でもチャレンジ!! 「わくわくワーク」 「廃油 de キャンドル」

ざいりょう 材料



- ① 廃油 (揚げ物などに使った食用油)
- ② 廃油凝固剤 (メーカーによって多少差はありますが、廃油600mlに対して20gが平均的な量です)
- ③ ビン (今回はジャムの空きビンを使用)
- ④ わりばし (割っていないもの) 1膳
- ⑤ ティッシュペーパー 2cm幅に切ったもの



つく かた 作り方

- ① 揚げ物をした直後、火を消し、油が熱いうちに廃油凝固剤を入れます。冷めた場合は、油を90℃~180℃に加熱してから、廃油凝固剤を入れてください。

※ 油は大変高温になります。お子様が実験する際は必ずお家の人と実験してください。

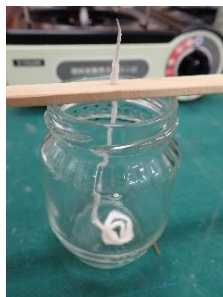
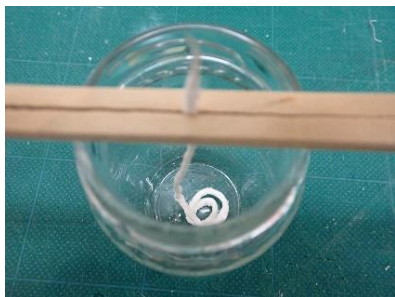


- ② 廃油凝固剤の粒がなくなるまで、割りばしでよく混ぜます。40℃以下になると固まってくるので、それまでにキャンドルの芯の準備をします。

③ティッシュペーパーを2cmの幅でさいて、角からぐるぐる巻きにして、こよりを作りキャンドルの芯にします。



④割りばしに芯をはさんで、ビンの中央に芯を垂直にたらしめます。芯が長いので切るか、長い部分をあらかじめ、とぐろを巻いて短くしておくともよいです。



⑤ビンに廃油凝固剤を入れた油をうつします。油の量はビンの3分の2または4分の3くらいまでにしておきましょう。



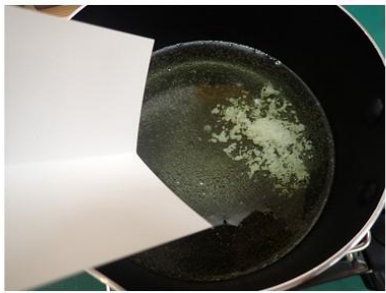

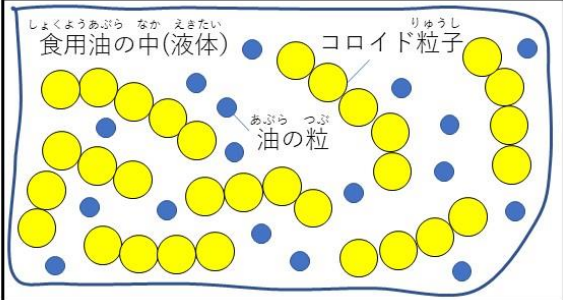
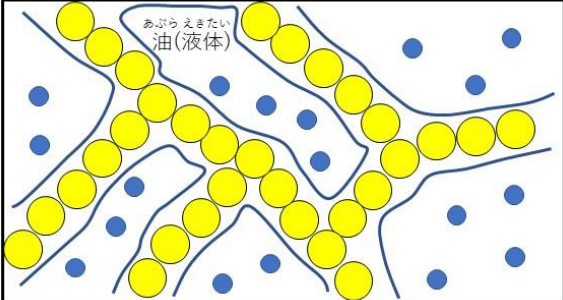
⑥固まったら割りばしを外し、芯の先がビンの外に出ないように、はさみで切れば完成です。

※火をつけて確かめるときは、お家の人と一緒に 行いましょう。



どうして「油が固まるの」？

廃油凝固剤は「天然油脂成分」でできています。この成分を90℃以上の食用油に入れると、「コロイド粒子」という、目には見えませんが、原子や分子より大きな粒となつて溶けて、食用油中に均一に広がります。そして、油の温度が下がっていくと、コロイド粒子同士がくっついていきます。このとき、コロイド粒子間のすき間に食用油が閉じ込められ固まります。かんてんなども同じ原理で固まっています。

	90℃以上のとき	40℃以下のとき
見ため		
模式図		

※アロマオイルをお好みの量加えて、においをつけることもできます。